

教育委員会会議 定例会

令和4年3月11日

提出議案綴

山梨県教育委員会

1 議 案

第 35 号 小中学校長の人事異動について

第 36 号 「山梨県幼児教育振興プログラム」の策定について

第 37 号 県立学校長の人事異動について

第 38 号 職員の処分について

2 報告事項

(14) 小中学校教頭の人事異動について

(15) 県立学校教頭の人事異動について

(16) 指導が不適切な教員について

3 その他報告

(18) 令和3年度第3回いじめ実態調査報告について

(19) 令和4年3月公立高等学校卒業予定者の就職内定状況について（令和3年12月末時点）

(20) 令和3年度山梨県新体力テスト・健康実態調査結果について

(21) 令和3年度休日部活動の地域移行に向けた実践研究事例集について

議案第 35 号

小中学校長の人事異動について

[別途資料配付]

議案第 36 号

「山梨県幼児教育振興プログラム」の策定について

提案理由

「山梨県教育振興基本計画」に基づき、幼児期における質の高い教育・保育の推進のため、「山梨県幼児教育振興プログラム」を策定する必要がある。これが、この議案を提出する理由である。

件名	「山梨県幼児教育振興プログラム」(素案)・概要版のパブリックコメント 及び「山梨県幼児教育振興プログラム」(案)について																																		
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員への説明 令和4年1月19日(水) ○ パブリックコメントの実施 令和4年1月26日(水)～令和4年2月9日(水) ○ 第4回内部検討会議 令和4年2月14日(月) <p>パブリックコメントへの回答とプログラム加筆修正点についての話し合い</p>																																		
内容	<p>◆意見の提出者数及び意見件数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">人数</th> <th style="text-align: center;">意見数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郵送</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>FAX</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>電子メール</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">39</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆意見反映状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">修正加筆意見反映</th> <th style="text-align: center;">記述済み</th> <th style="text-align: center;">実施段階検討</th> <th style="text-align: center;">反映困難</th> <th style="text-align: center;">その他</th> <th style="text-align: center;">計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">4件</td> <td style="text-align: center;">14件</td> <td style="text-align: center;">4件</td> <td style="text-align: center;">3件</td> <td style="text-align: center;">15件</td> <td style="text-align: center;">40件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他は、施策外の意見、提出者の考え方、質問や説明を求めている内容等</p> <p>※寄せられた意見により反映した内容については、別紙</p>					区分	人数	意見数	郵送	0	0	FAX	1	1	電子メール	12	39	その他	0	0	計	13	40	修正加筆意見反映	記述済み	実施段階検討	反映困難	その他	計	4件	14件	4件	3件	15件	40件
区分	人数	意見数																																	
郵送	0	0																																	
FAX	1	1																																	
電子メール	12	39																																	
その他	0	0																																	
計	13	40																																	
修正加筆意見反映	記述済み	実施段階検討	反映困難	その他	計																														
4件	14件	4件	3件	15件	40件																														
今後	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後の予定 <ul style="list-style-type: none"> 3月29日(火) 庁議 プログラムの策定(予定) 策定後に公表(HP) 3月31日(木) プログラムの発送・周知 																																		

議案第 37 号

県立学校長の人事異動について

[別途資料配付]

議案第 38 号

職員の処分について

[別途資料配付]

報告事項 14

小中学校教頭の人事異動について

[別途資料配付]

報告事項 15

県立学校教頭の人事異動について

[別途資料配付]

報告事項 16

指導が不適切な教員について

[別途資料配付]

その他報告 18

令和3年度第3回いじめ実態調査報告について

[別途資料配付]

令和4年3月11日(金)		担当課	高校教育課																																				
件名	令和4年3月公立高等学校卒業予定者の就職内定状況：令和3年12月31日現在																																						
内容	<p>1 目的 令和4年3月高等学校卒業予定者の12月末時点就職内定状況を把握し、今後の就職指導に役立てることを目的とする。</p> <p>2 調査対象 公立高等学校卒業生(全日制・定時制) 5,491人(昨年度比 167人減)</p> <p>3 調査期日 令和3年12月31日現在</p> <p>4 調査結果の概要 (R2年度調査比) <R元年度調査比></p> <p>(1) 就職希望者数 940人 (72人減) <229人減></p> <p>就職希望者割合 17.1% (0.8ポイント減) <2.7ポイント減></p> <p>就職内定者 885人 (74人減) <220人減></p> <p>就職内定率 94.1% (0.7ポイント減) <0.3ポイント減></p> <p>過年度同期(%) (R2は1月末調査)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H16</th><th>H17</th><th>H18</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>76.7</td><td>82.9</td><td>85.3</td><td>83.1</td><td>85.0</td><td>78.7</td><td>85.8</td><td>84.4</td><td>84.3</td><td>90.2</td><td>90.7</td><td>92.9</td><td>94.6</td><td>95.4</td><td>94.9</td><td>94.4</td><td>94.8</td><td>94.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 男女別の内定率 男子 95.2% (0.7ポイント増) <0.1ポイント減></p> <p>女子 92.1% (3.2ポイント減) <0.8ポイント減></p> <p>(3) 課程別の内定率 全日制 95.8% (0.7ポイント減) <0.4ポイント減></p> <p>定時制 74.0% (±0ポイント) <1.8ポイント減></p> <p>(4) 学科別内定率</p> <p>普通科 85.6% (0.1ポイント増) <2.8ポイント増> 商業科 94.3% (2.9ポイント増) <1.8ポイント増></p> <p>農業科 93.3% (0.6ポイント減) <2.1ポイント増> 専門科 100.0% (±0ポイント) <±0ポイント></p> <p>工業科 97.4% (0.2ポイント増) <1.7ポイント減> 総合学科 94.1% (4.3ポイント減) <2.2ポイント減></p> <p>(5) 県内・県外内定割合 県内 89.5% (0.1ポイント増) <0.8ポイント減></p> <p>県外 10.5% (0.1ポイント減) <0.8ポイント増></p>			H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	76.7	82.9	85.3	83.1	85.0	78.7	85.8	84.4	84.3	90.2	90.7	92.9	94.6	95.4	94.9	94.4	94.8	94.1
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3																					
	76.7	82.9	85.3	83.1	85.0	78.7	85.8	84.4	84.3	90.2	90.7	92.9	94.6	95.4	94.9	94.4	94.8	94.1																					
	対応	<p>5 会議・説明会等</p> <p>(1) 高校教育課：高校就職指導担当者会議(5月、10月、2月)</p> <p>(2) 山梨労働局との連携：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県高等学校就職問題検討会議(6月) [一人一社制等を毎年検討・協議] ・産業事情説明会(各地域ハローワーク7月) ・やまなし企業面接会(7月) ・やまなし新卒者等合同就職面接会(10月) ・職場見学会(1月) <p>(3) 産業労働部との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同就職フェア(11月) ・学校と企業との就職情報交換会(1月) <p>(4) 中小企業団体中央会との連携：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内業界団体と高校教員との情報交換会(6月) 																																					

	<p>6 就職支援のための取り組み</p> <p>(1) 山梨労働局長、山梨県知事、山梨県教育長の3者連名による、県内の経済4団体への、新規学卒者の採用維持と早期求人申込の要請(6月)</p> <p>(2) 各学校の企業訪問等による採用維持の依頼</p> <p>(3) 各学校就職指導担当者の情報共有 就職指導担当者会議(年3回)、進路指導主事連絡会議(年4回)</p> <p>(4) 他部局との連携強化による、情報共有や企業理解の促進</p> <p>①厚生労働省(山梨労働局)や公共職業安定所との連携・情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業ガイドブックやまなし2022(高卒版)のHP掲載 ・応募前職場見学リストの配付(7月) ・やまなし若者サポートステーションの周知 <p>②産業労働部(労政雇用課)との連携・情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内就職を促進するための高校への講師派遣事業(高校生のみらい甲州〜くらしやまなしジブンさがし〜)の実施 ・山梨県就職支援リーフレット(はたらこやまなし)の配付 ・山梨県就職支援サイト「やまなし就職応援ナビ」の活用促進 <p>(5) 各学校におけるキャリア教育の一層の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携し、生徒個々の状況に応じた進路指導(進学、就職)を充実 ・キャリアビジョン形成支援事業の推進やキャリア・パスポートの利活用 ・各学校で卒業生相談窓口の設置や、企業訪問による就職生徒の状況確認
備考	○第3回調査(就職決定状況)は令和4年3月末に実施(令和4年5月公表)

令和4年3月公立高等学校卒業予定者の就職内定状況

令和3年12月31日現在

データ資料 NO1

1 全日制

学科	性別計	卒業 予定者	就職希望者			就職内定者			内定率 %	R3.1内定率 %	内定率 R3.1比	R1.12内定率 %	内定率 R1.12比
			県内	県外		県内	県外						
普通	男	1586	37	30	7	34	28	6	91.9	90.5	1.4	92.5	-0.6
	女	1597	38	32	6	33	29	4	86.8	85.4	1.4	88.9	-2.1
	計	3183	75	62	13	67	57	10	89.3	87.8	1.5	91.0	-1.7
農業	男	122	63	61	2	60	58	2	95.2	89.1	6.1	88.4	6.8
	女	69	41	41	0	37	37	0	90.2	100.0	-9.8	95.5	-5.3
	計	191	104	102	2	97	95	2	93.3	93.9	-0.6	91.2	2.1
工業	男	488	303	262	41	300	260	40	99.0	98.8	0.2	98.9	0.1
	女	50	29	28	1	29	28	1	100.0	97.1	2.9	100.0	0.0
	計	538	332	290	42	329	288	41	99.1	98.7	0.4	99.0	0.1
商業	男	139	63	55	8	62	54	8	98.4	92.3	6.1	98.6	-0.2
	女	220	72	67	5	68	63	5	94.4	95.6	-1.2	92.2	2.2
	計	359	135	122	13	130	117	13	96.3	94.4	1.9	95.0	1.3
専門	男	123	0	0	0	0	0	0	***	***	***	***	***
	女	105	2	2	0	2	2	0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
	計	228	2	2	0	2	2	0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
総合	男	362	110	86	24	105	82	23	95.5	97.8	-2.3	97.8	-2.3
	女	497	109	106	3	101	98	3	92.7	99.1	-6.4	95.0	-2.3
	計	859	219	192	27	206	180	26	94.1	98.4	-4.3	96.3	-2.2
合計	男	2820	576	494	82	561	482	79	97.4	96.8	0.6	97.1	0.3
	女	2538	291	276	15	270	257	13	92.8	95.9	-3.1	94.4	-1.6
	計	5358	867	770	97	831	739	92	95.8	96.5	-0.7	96.2	-0.4

2 定時制

学科	性別計	卒業 予定者	就職希望者			就職内定者			内定率 %	R3.1内定率 %	内定率 R3.1比	R1.12内定率 %	内定率 R1.12比
			県内	県外		県内	県外						
普通	男	50	31	29	2	24	23	1	77.4	71.4	6.0	66.7	10.7
	女	52	19	19	0	16	16	0	84.2	95.0	-10.8	80.8	3.4
	計	102	50	48	2	40	39	1	80.0	81.3	-1.3	72.1	7.9
工業	男	17	15	15	0	9	9	0	60.0	68.4	-8.4	100.0	-40.0
	女	2	2	2	0	2	2	0	100.0	***	***	100.0	0.0
	計	19	17	17	0	11	11	0	64.7	68.4	-3.7	100.0	-35.3
商業	男	7	3	3	0	1	1	0	33.3	50.0	-16.7	66.7	-33.4
	女	5	3	3	0	2	2	0	66.7	50.0	16.7	57.1	9.6
	計	12	6	6	0	3	3	0	50.0	50.0	0.0	61.5	-11.5
合計	男	74	49	47	2	34	33	1	69.4	67.9	1.5	75.4	-6.0
	女	59	24	24	0	20	20	0	83.3	87.5	-4.2	76.5	6.8
	計	133	73	71	2	54	53	1	74.0	74.0	0.0	75.8	-1.8

3 全体(全日制+定時制)

学科	性別計	卒業 予定者	就職希望者			就職内定者			内定率 %	R3.1内定率 %	内定率 R3.1比	R1.12内定率 %	内定率 R1.12比
			県内	県外		県内	県外						
普通	男	1636	68	59	9	58	51	7	85.3	82.9	2.4	81.1	4.2
	女	1649	57	51	6	49	45	4	86.0	88.2	-2.2	85.5	0.5
	計	3285	125	110	15	107	96	11	85.6	85.5	0.1	82.8	2.8
農業	男	122	63	61	2	60	58	2	95.2	89.1	6.1	88.4	6.8
	女	69	41	41	0	37	37	0	90.2	100.0	-9.8	95.5	-5.3
	計	191	104	102	2	97	95	2	93.3	93.9	-0.6	91.2	2.1
工業	男	505	318	277	41	309	269	40	97.2	97.2	0.0	99.0	-1.8
	女	52	31	30	1	31	30	1	100.0	97.1	2.9	100.0	0.0
	計	557	349	307	42	340	299	41	97.4	97.2	0.2	99.1	-1.7
商業	男	146	66	58	8	63	55	8	95.5	87.9	7.6	96.1	-0.6
	女	225	75	70	5	70	65	5	93.3	93.6	-0.3	89.7	3.6
	計	371	141	128	13	133	120	13	94.3	91.4	2.9	92.5	1.8
専門	男	123	0	0	0	0	0	0	***	***	***	***	***
	女	105	2	2	0	2	2	0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
	計	228	2	2	0	2	2	0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
総合	男	362	110	86	24	105	82	23	95.5	97.8	-2.3	97.8	-2.3
	女	497	109	106	3	101	98	3	92.7	99.1	-6.4	95.0	-2.3
	計	859	219	192	27	206	180	26	94.1	98.4	-4.3	96.3	-2.2
合計	男	2894	625	541	84	595	515	80	95.2	94.5	0.7	95.3	-0.1
	女	2597	315	300	15	290	277	13	92.1	95.3	-3.2	92.9	-0.8
	計	5491	940	841	99	885	792	93	94.1	94.8	-0.7	94.4	-0.3

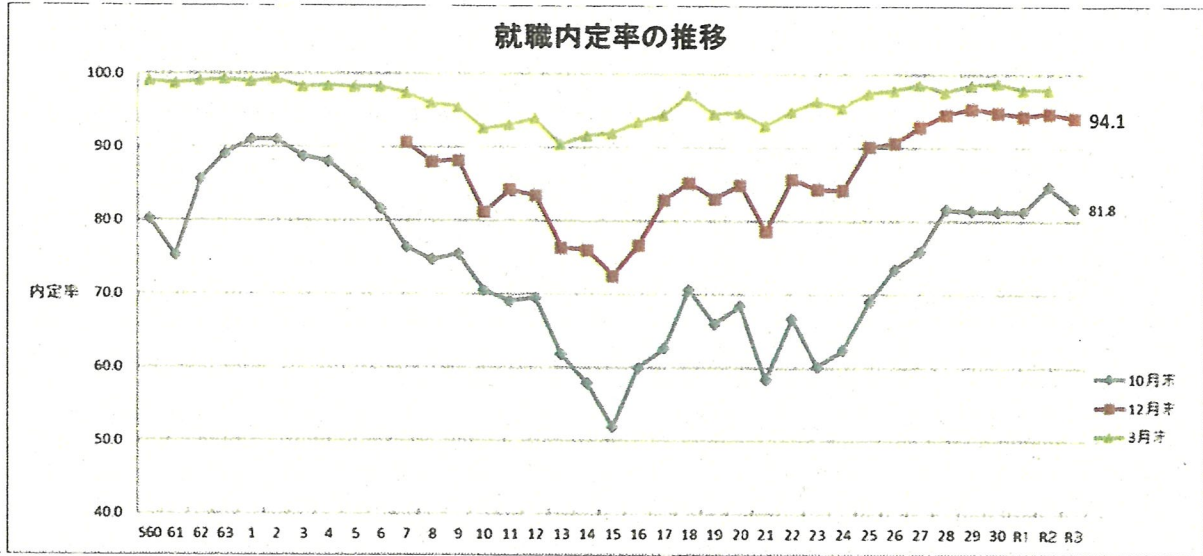
4 内定(決定)率(%)の推移

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
10月内定率	62.4	69.0	73.4	75.9	81.6	81.4	81.3	81.3	84.7※1	81.8
12月内定率	84.3	90.2	90.7	92.9	94.6	95.4	94.9	94.4	94.8※2	94.1
3月決定率	95.5	97.5	97.9	98.7	97.7	98.6	98.9	98.0	98.0	***

※1は11月末、※2は1月末

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
10月内定率	60.0	62.6	70.6	66.0	68.4	58.4	66.7	60.2
12月内定率	75.5	82.9	85.3	83.1	85.0	78.7	85.8	84.4
3月決定率	93.6	94.5	97.2	94.7	94.9	93.1	95.0	96.4

就職内定率推移グラフ（12月末：全日制＋定時制）



月\年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度
10月内定率	80.2	75.2	85.6	89.1	91.1	91.1	88.8	88.1	85.1	81.7
12月内定率										
3月決定率	99.1	98.7	99.1	99.3	99.0	99.4	98.3	98.4	98.3	98.3

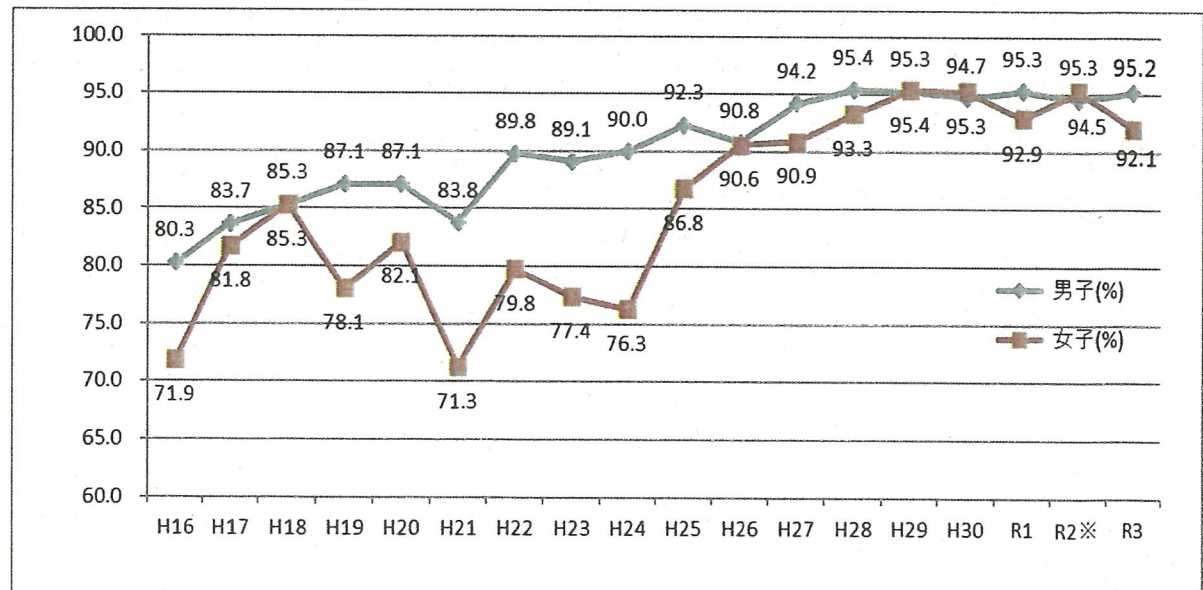
月\年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
10月内定率	76.4	74.7	75.5	70.5	69.1	69.5	61.8	57.9	51.9	60.0
12月内定率	90.7	88.1	88.3	81.2	84.3	83.5	76.4	76.1	72.6	76.7
3月決定率	97.5	96.1	95.6	92.7	93.2	94.0	90.5	91.7	92.0	93.5

月\年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
10月内定率	62.6	70.6	66.0	68.4	58.4	66.7	60.2	62.4	69.0	73.4
12月内定率	82.9	85.3	83.1	85.0	78.7	85.8	84.4	84.3	90.2	90.7
3月決定率	94.5	97.2	94.7	94.9	93.1	95.0	96.4	95.5	97.5	97.9

月\年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
10月内定率	75.9	81.6	81.4	81.3	81.3	84.7 ^{※1}	81.8
12月内定率	92.9	94.6	95.4	94.9	94.4	94.8 ^{※2}	94.1
3月決定率	98.7	97.7	98.6	98.9	98.0	98.0	***

※1 令和2年11月調べ
 ※2 令和3年1月調べ

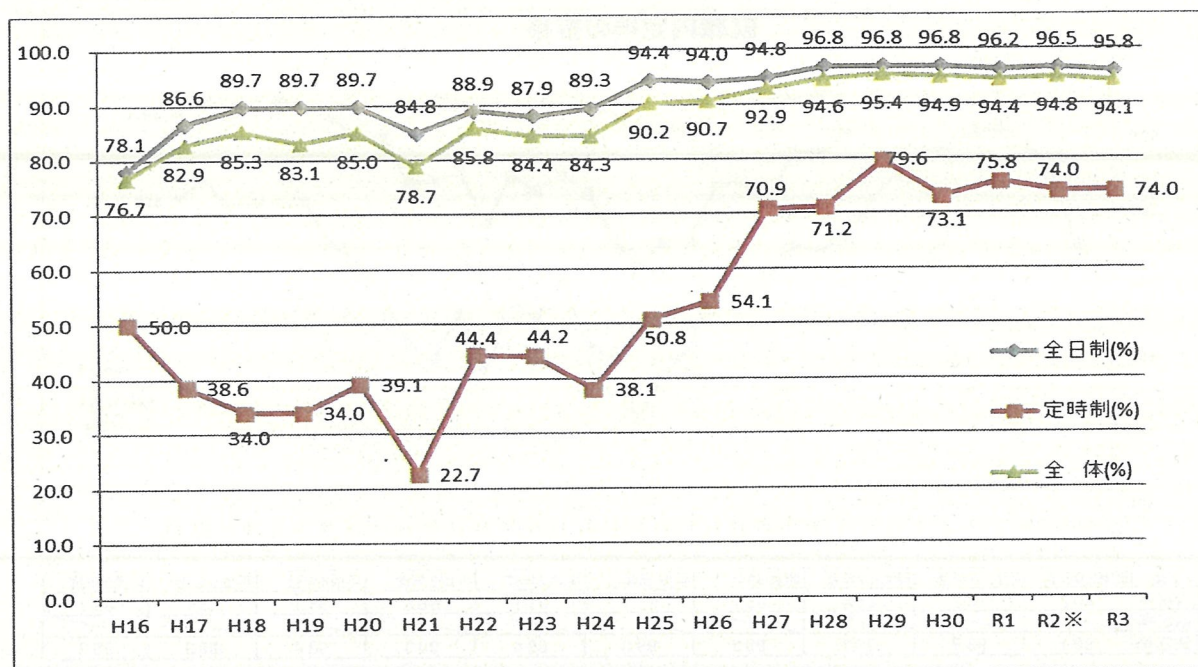
男女別就職内定率推移（12月末：全日制＋定時制）



男女\年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2 [※]	R3
男子 (%)	80.3	83.7	85.3	87.1	87.1	83.8	89.8	89.1	90.0	92.3	90.8	94.2	95.4	95.3	94.7	95.3	94.5	95.2
女子 (%)	71.9	81.8	85.3	78.1	82.1	71.3	79.8	77.4	76.3	86.8	90.6	90.9	93.3	95.4	95.3	92.9	95.3	92.1
全体 (%)	76.7	82.9	85.3	83.1	85.0	78.7	85.8	84.4	84.3	90.2	90.7	92.9	94.6	95.4	94.9	94.4	94.8	94.1

※R2は令和3年1月

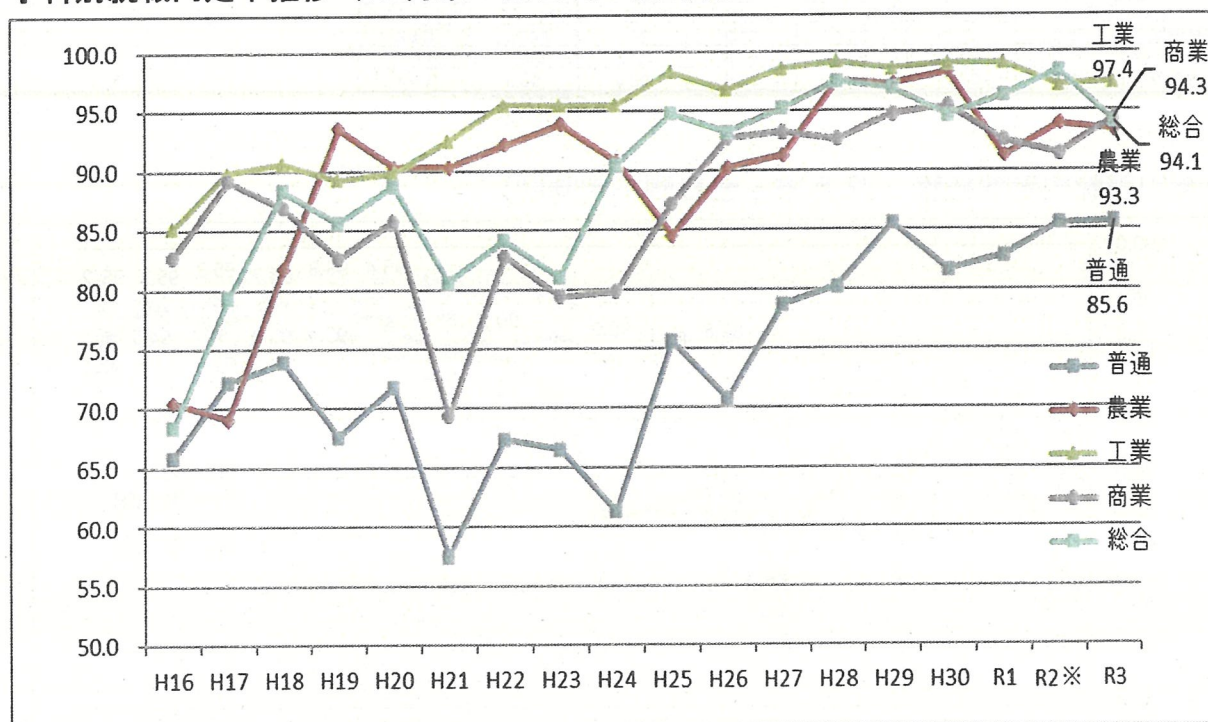
課程別就職内定率推移 (12月末：全日制・定時制)



課程\年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2※	R3
全日制(%)	78.1	86.6	89.7	89.7	89.7	84.8	88.9	87.9	89.3	94.4	94.0	94.8	96.8	96.8	96.8	96.2	96.5	95.8
定時制(%)	50.0	38.6	34.0	34.0	39.1	22.7	44.4	44.2	38.1	50.8	54.1	70.9	71.2	79.6	73.1	75.8	74.0	74.0
全体(%)	76.7	82.9	85.3	83.1	85.0	78.7	85.8	84.4	84.3	90.2	90.7	92.9	94.6	95.4	94.9	94.4	94.8	94.1

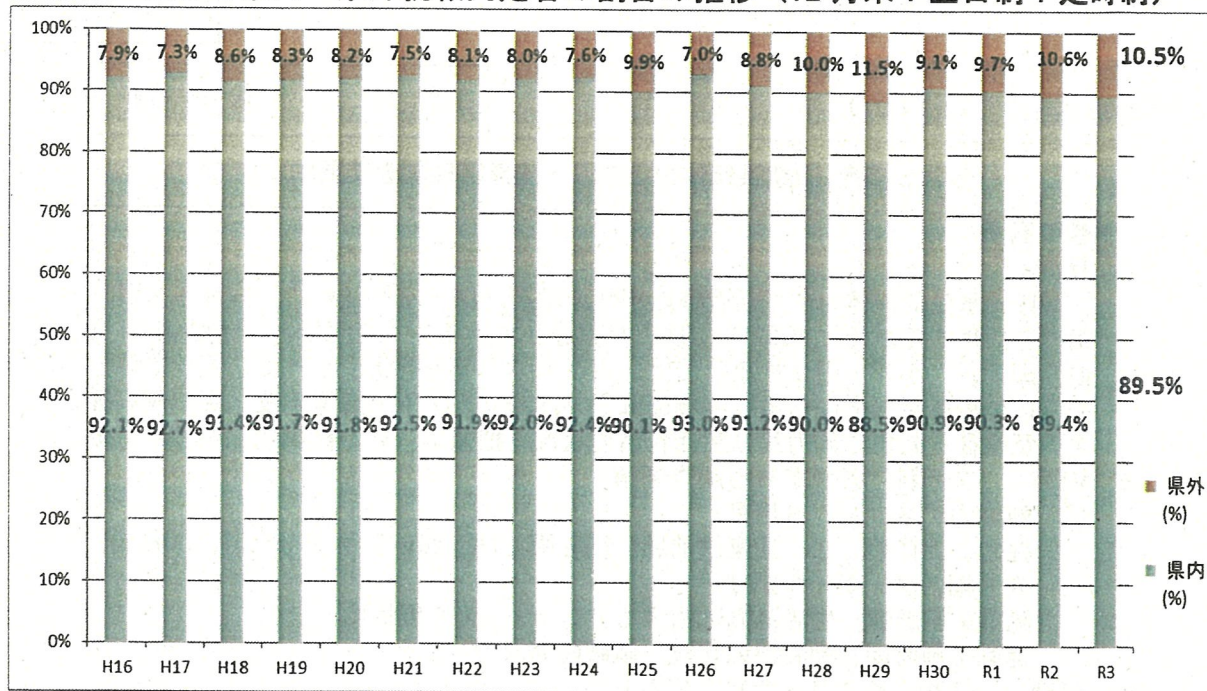
※R2は令和3年1月

学科別就職内定率推移 (12月末：全日制+定時制)



※R2は令和3年1月

就職者に占める県内・県外就職内定者の割合の推移（12月末：全日制＋定時制）



県内外\年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
県内 (%)	92.1%	92.7%	91.4%	91.7%	91.8%	92.5%	91.9%	92.0%	92.4%	90.1%	93.0%	91.2%	90.0%	88.5%	90.9%	90.3%	89.4%	89.5%
県外 (%)	7.9%	7.3%	8.6%	8.3%	8.2%	7.5%	8.1%	8.0%	7.6%	9.9%	7.0%	8.8%	10.0%	11.5%	9.1%	9.7%	10.6%	10.5%

※R2は令和3年1月

【令和4年3月11日(金)】

課名

保健体育課

件名

令和3年度 山梨県新体力テスト・健康実態調査結果について

I 調査の概要

1 目的

本県児童生徒の体力や生活習慣の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導に活用するため、平成17年度より実施している。「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(小5・中2対象)では、本県の体力等の現状について全国平均値との比較を基に分析を行っているが、本調査は、県内公立小・中・高等学校・定時制高等学校の全児童生徒を対象に体力及び生活習慣の状況を把握し、その経年変化を基に分析する。

2 内容

文部科学省が定める調査要領

○「新体力テスト」(8種目)

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ボール投げ

○「健康実態調査」生活習慣に関するアンケート(10項目)

運動実施時間、朝食摂取状況、睡眠時間など

3 時期

令和3年4月～令和3年7月

4 対象

69,683人(県内公立小・中・高等学校・定時制高等学校の児童生徒 全16学年)

II 調査結果の概要

1 実技に関する調査

(1) 体力合計点の経年変化(10年間) ※8種目の記録を得点化した合計点の平均値
令和3年度の体力合計点について、10年前の推移を学年別にみると、男子はすべての学年、女子は高等学校(全日制)を除くすべての学年で、本年度の体力合計点は過去10年間のうち、最も低い値となった。

(2) 各種目別の傾向(10年間)

○過去10年間で令和3年度に最も高い得点を示した学年

種目名	男子(学年)					女子(学年)				
	小学校	中学校	高等学校	定時制	学年計	小学校	中学校	高等学校	定時制	学年計
握力		1			1					0
上体起こし					0					0
長座体前屈	5		1		2	2,3,4,5		3	2	6
反復横跳び			2		1			2	2,3,4	4
20mシャトルラン					0					0
50m走			3		1					0
立ち幅跳び	2	2,3	1		4	2,3,4				3
ボール投げ					0					0

○過去10年間で令和3年度に最も低い得点を示した学年

種目名	男子(学年)					女子(学年)				
	小学校	中学校	高等学校	定時制	学年計	小学校	中学校	高等学校	定時制	学年計
握力	1,3,4,5,6	3	1	4	6	1,2,3,5	1			5
上体起こし	3,4,5,6	1,2,3	1,2,3	1,3,4	10	4,5,6	1,2,3	1	1,2,3	10
長座体前屈				3	1					0
反復横跳び	3,4,5,6				4	3,4,5,6				4
20mシャトルラン	3,4,5,6	1,2,3	1	1	9	5,6	1,2,3			5
50m走	5				1					0
立ち幅跳び	5			4	2	5				1
ボール投げ	1,2,3,4,5,6	1	1,2,3	1,3,4	10	3,4,5	1		3,4	5

過去10年間のうち、ほとんどの種目において、過去最低値を示す学年が多くあった。中でもボール投げにおいては、令和3年度も低下傾向が続いており、投能力の低下は依然として課題となっている。一方で、本年度は、小学5年生や高校2年生など、男女ともに、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳びにおいて最高値を示す学年が見られた。

内

容

2 健康実態調査（ゴシック体は文面の内容を示す）

(1) 運動習慣

運動やスポーツの実施頻度について、「ほとんど毎日」運動すると回答した児童生徒の割合は、男子は小学校1・2・4・6年生、中学校1～3年生、高校定時制3・4年生で、女子は、小学校から中学校の全学年と高校定時制2～4年生で令和元年度を上回る結果となった。（※H29の調査より「登下校の徒歩も運動に含む」の条件を加えたため、10年前ではなく前年度の結果と比較している）

【一例】		H24		R1		R3			H24		R1		R3	
【男子】	小4	56.8%	→	74.9%	→	76.1%		【女子】	小4	35.1%	→	68.5%	→	74.2%
	中3	74.3%	→	71.7%	→	75.0%			中3	54.8%	→	54.6%	→	60.8%
	高1	68.1%	→	83.3%	→	78.0%			高1	34.6%	→	73.8%	→	71.4%
	定4	13.2%	→	28.4%	→	33.3%			定4	2.9%	→	22.2%	→	25.9%

(2) 朝食摂取

朝食を「毎日食べる」と回答した児童生徒の割合が10年前と比較すると増加した学年は、男子は小学1・2年生、中学3年生、女子は小学1年生、高校定時制2年生であった。男子は小学3年生から高校定時制4年生、女子は小学6年生から高校定時制1・3・4年生までの「毎日食べる」児童生徒の割合が9割を下回っている。

【一例】		H24		R1		R3			H24		R1		R3	
【男子】	小4	90.9%	→	89.4%	→	89.4%		【女子】	小6	91.6%	→	90.1%	→	87.5%
	中1	89.6%	→	87.6%	→	87.0%			中1	90.9%	→	88.1%	→	84.9%
	高1	86.0%	→	83.5%	→	80.1%			高1	88.5%	→	84.4%	→	81.1%
	定1	42.1%	→	38.8%	→	36.6%			定1	51.0%	→	35.6%	→	41.0%

(3) 睡眠時間

一日の睡眠時間について、「8時間以上」と回答した児童生徒の割合は、10年前と比較すると、男子は高校定時制2年生、女子は中学3年生と高校定時制3年生で増加した。

【一例】		H24		R1		R3			H24		R1		R3	
【男子】	小3	70.1%	→	64.6%	→	62.5%		【女子】	小3	73.4%	→	71.5%	→	68.1%
	中3	14.4%	→	12.2%	→	12.0%			中3	9.2%	→	8.5%	→	14.8%
	高1	9.7%	→	6.5%	→	7.0%			高1	6.8%	→	4.4%	→	3.9%
	定2	18.8%	→	17.2%	→	19.5%			定2	21.8%	→	11.7%	→	14.3%

一方、「6時間未満」の割合が男子は11学年、女子は13学年で増加しており、全体として睡眠時間は減少傾向である。

3 体力合計点と健康実態調査項目との関連

「体力合計点」が高い児童生徒の特徴は次のとおり。

- 運動やスポーツを「ほとんど毎日」している
- 運動部、スポーツ少年団等へ所属している。
- 朝食を毎日食べている。
- テレビ、スマートフォン等の接触時間が1時間未満である。

Ⅲ 今後の体力向上対策

新型コロナウイルスの影響により、学校教育活動全体を通じた体力向上に取り組む機会が減少したことから児童生徒の体力低下にさらに拍車がかかったことが考えられる。継続した活動を実践していくことで、体力の向上をめざす。

①「健康・体力づくり一校一実践運動」(H17～)

各学校が前年度までの体力テストや生活実態調査の結果から改善目標を設定し、全校で解決に向けた取組を実践していく。

②「目指せ！やまなしチャンピオン！事業」(H29～)

県内の小学生を対象に、6つの運動種目に学級または縦割り班単位で取り組み、他校の学級と記録を競い合うことで、運動習慣の形成と体力の向上を図る。

③「もっと楽しい体育授業で体力アップ！事業」(R1～)

体育の授業で投げる運動を楽しく学び、子供たちの投げる遊びが習慣化につながることを目的とし、運動遊びの指導に長けた指導者が小学校を訪問し、児童への指導を実際に行うと同時に、その様子を教員が参観し、指導に活かす。

④各学校での家庭への働きかけの推進

研修会等を通じて、朝食摂取習慣や睡眠時間、スマートフォン等の接触頻度などと体力向上の相関関係を説明し、各学校で通知等による家庭への周知が図られるよう働きかける。

⑤食育一校一実践運動の推進

各校が実情に応じて食に関する具体的目標を設定し、主体的・計画的に食育に取り組む体制を構築することができるよう、具体的な実践例を周知・普及し、食育の充実が図られるよう働きかける。

その他報告 21

令和3年度休日部活動の地域移行に向けた実践研究事例集について

[別途資料配付]